大会名称: **平成２０年度　第４３回群馬県中学校総合体育大会**
第６１回　バスケットボール大会

開催場所: **ぐんまアリーナ　Bコート**

試合区分: **No. 102 女子　　準決勝**

期　　日: **2008(H20)年7月31日 (木)**　　主審: **塚越 直樹**

開始時間: **09:00**　　副審: **中根 美穂**

終了時間:

館林三	○ 52	10 -1st- 13 12 -2nd- 9 14 -3rd- 10 16 -4th- 13 -OT1- -OT2- -OT3-	● 45	桜木
(館林)				(桐生･みどり)

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		竹田　愛	-	-	-	-	-	4	*	髙見澤香穂	15	5	0	0	2
5	*	大木　優那	22	0	11	0	0	5	*	丹羽真結子	7	1	1	2	2
6	*	土屋百合奈	0	0	0	0	2	6	*	松本　沙璃	18	0	7	4	0
7	*	神原みずき	16	0	8	0	2	7	*	清水　汐美	3	1	0	0	2
8	*	小山　花菜	9	2	1	1	2	8		安田　杏優	0	0	0	0	0
9		阿部　未来	-	-	-	-	-	9		田村　萌	-	-	-	-	-
10		山野井千春	-	-	-	-	-	10	*	井田奈都美	2	0	1	0	2
11		太田　麻耶	-	-	-	-	-	11		吉田　聡実	-	-	-	-	-
12		井畑　美那	-	-	-	-	-	12		小島加南子	-	-	-	-	-
13		森　　遥香	-	-	-	-	-	13		猿山　莉香	-	-	-	-	-
14	*	山野　夏美	5	1	1	0	0	14		清水紗由美	-	-	-	-	-
								15		浦　　美咲	-	-	-	-	-
								16		阿部まどか	-	-	-	-	-
								17		櫻井あかり	-	-	-	-	-
								18		中島　麗奈	-	-	-	-	-
コーチ		千輝　敦志						コーチ		鈴木　秀行					
		合計	52	3	21	1	6			合計	45	7	9	6	8

S: スターター　　PTS: ポイント　　3P: 3ポイントシュート　　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　　F: ファール

館林三中は２－１－２のゾーンＤＦ、桜木中はハーフコートマンツーマンＤＦで試合開始。館三は高い得点能力を持つ⑤大木が安定したシュートで得点を重ねていく。対する桜木は、中にボールを入れてＤＦを引きつけ、外にボールを送り、３Ｐをきっちり決める桜木らしい攻撃をみせる。第1ピリオドは１０対１３の桜木リードで終了。第2ピリオド、館三は２－２－１のゾーンプレスを仕掛けるが、桜木は冷静にボールを運ぶ。互いに相手の様子をみながらスローペースで試合は進み、２２対２２の同点で前半終了。
第3ピリオド、両チームとも変わらずゾーンＤＦをはる。桜木中は外でパスを回したり、中にパスを入れたりしながらＤＦを動かし、隙を狙い、長身⑥松本で3連続得点をとる。館三は⑥への寄りを厳しくしたり、ボールマンにプレッシャーをかけたりしてパスミスを誘い、速攻やドライブで得点し、応戦する。３６対３２の館三４点リードで第3ピリオド終了。第4ピリオド中盤、試合が動き出す。⑥番にパスが入らず、桜木が攻めあぐむ中、館三は得点源の２人、⑤大木と⑦神原の連続シュートに⑧小山が３Ｐでとどめをさし、桜木に１１点差をつける。桜木はこの相手の攻撃にたまらずタイムアウト。残り2分半、桜木は声を出して戦い続けた司令塔⑤丹羽とシューター④高見澤が執念の３Ｐを決め、５点差まで詰め寄る。しかし、館三は、ここでも⑤大木が落ち着いてシュートを決めてくる。桜木の追い上げは届かず、５２対４５で館林三中が勝利し、関東大会出場を決め、決勝戦に駒を進めた。
(文責:太田)